



平成23年7月7日

各 位

上場会社名 イワキ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 岩城 修  
 (コード番号 8095)  
 問合せ先責任者 常務取締役 高野 滋  
 (TEL 03-3279-0481)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年1月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	600	480	110	4.09
今回修正予想(B)	27,225	754	801	1,492	55.61
増減額(B-A)	1,225	154	321	1,382	
増減率(%)	4.7	25.8	67.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年11月期第2四半期)	24,469	241	277	69	2.87

平成23年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,000	1,300	1,200	500	16.58
今回修正予想(B)	54,000	1,400	1,400	1,800	59.91
増減額(B-A)	1,000	100	200	1,300	
増減率(%)	1.9	7.7	16.7	260.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	50,412	494	645	381	15.85

平成23年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	190	120	4.45
今回修正予想(B)	23,834	408	248	9.23
増減額(B-A)	834	218	128	
増減率(%)	3.6	115.0	107.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年11月期第2四半期)	22,595	247	102	4.25

平成23年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	580	360	11.92
今回修正予想(B)	44,000	600	370	12.28
増減額(B-A)	△3,000	20	10	
増減率(%)	△6.4	3.4	2.8	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	45,640	422	185	7.68

修正の理由

(連結)

○第2四半期連結累計期間

売上高については、医薬品事業は、後発医薬品使用促進策によりジェネリック医薬品の需要は引き続き拡大傾向にあり、医療用医薬品は大幅に伸長いたしました。一般用医薬品は、花粉症対策関連商品など、例年に比べ季節品の需要が高まり、順調に推移いたしました。医薬品原料・香粧品原料事業は、医薬品事業同様に後発医薬品使用促進策によりジェネリック医薬品原料が大幅に伸長いたしました。

た。また、子会社の化粧品販売も予定を上回る伸長となり、全体として前回予想を大幅に上回りました。  
営業利益については、売上高増加に伴う売上総利益が増加したこと、販売費及び一般管理費が、ほぼ当初の予想どおりで推移したため、前回予想を大幅に上回りました。  
経常利益は、営業外収益で当初予定していなかった受託研究収入が増加したことなどにより、前回予想を大幅に上回りました。  
また、「負ののれん発生益」1,172百万円を特別利益として計上したことにより、四半期純利益は、前回予想を大幅に上回りました。  
なお、平成23年4月25日付の「特別利益(負ののれん発生益)の計上に関するお知らせ」で「負ののれん発生益」の金額を1,151百万円と公表しておりましたが、確定額は1,172百万円となりました。

#### ○通期

通期につきましては、「東日本大震災」による今後の業績に与える影響が不透明であります。下期の売上高については、当初の計画どおり推移すると予想し、第2四半期までの売上高増加分を考慮し、前回予想を上回ると予想いたしました。  
営業利益、経常利益、当期純利益についても、第2四半期までの影響を考慮し、前回予想を上回ると予想いたしました。

#### (個別)

##### ○第2四半期累計期間

連結と同様に、売上高については、医薬品部門、医薬品原料・化粧品原料部門が好調に推移したため、前回予想を上回りました。  
営業利益については、売上高増加に伴う売上総利益が増加したこと、販売費及び一般管理費が、ほぼ当初の予想どおりで推移したため、前回予想を上回りました。  
経常利益、四半期純利益は、営業外収益のうち保有株式の配当収入が当初予想より増加したことなどから、前回予想を上回りました。

#### ○通期

通期につきましては、平成23年6月1日付で当社の化成品事業のうちメルテックス製品の販売事業を、当社の完全子会社であるメルテックス株式会社に承継したことにより、売上高および営業利益は減少いたしますが、経常利益、当期純利益については第2四半期までの影響を受け、前回とほぼ同様の結果になると予想いたしました。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上